

# 理想科学工業株式会社

本社 / 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

[お問い合わせ先] 環境活動推進部

Tel. 029-889-2527 Fax. 029-889-2530

E-mail: info@riso.co.jp URL: http://www.riso.co.jp/

環境経営  
報告書

2015

## 表紙のことば

### 「木の花／ヤブツバキ」

温室効果ガスの排出を抑え、地球温暖化を防止することは、そこに暮らす生き物に共通の課題です。低炭素社会を実現し美しい環境を次世代につないでいく象徴として「木の花」を選びました。表紙の花はヤブツバキです。鳥を利用して受粉するヤブツバキは、鳥にみつけてもらうために花冠が赤い。萌芽性が高く、冬にでも常緑で日陰でも花を咲かせるヤブツバキは、青森から沖縄にかけて多く分布しています。

新村則人



NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)から認証を取得しています。  
ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。  
本冊子は、環境にやさしい大豆インキと、FSC®認証紙を使用しています。





多枚数プリントを、より速く、リーズナブルに。

# 理想科学の3つのコア技術

理想科学の主力製品、高速カラープリンター「オルフィス」とデジタル印刷機「リソグラフ」。「世界に類のないものを創る」を開発ポリシーに独自のプリンティングソリューションを支える技術開発に絶えず取り組んでいます。



## 高速用紙搬送技術

高速で高品質な印刷を実現するには、用紙をきめ細かく制御する技術が必要です。用紙を高速かつ正確に送り出すだけでなく、幅広い紙質・厚さへの対応、印刷後の丁合や製本などの複雑な後処理加工にも搬送技術を応用しています。



## カラー印刷を高速に

インクジェット方式を採用した  
高速カラープリンター  
「オルフィス」

## 多枚数を速く低コストで

孔版印刷方式を採用した  
デジタル印刷機  
「リソグラフ」

## インク開発技術

1954年、国産初のエマルジョンインク「RISO インク」を開発。以来、画像性と速乾性を両立させたリソグラフの「エマルジョンインク」や高速印刷に適したオルフィスの「油性顔料インク」など、理想製品の特長である「速さ」を実現するためのインクを追求しています。



## 印刷プロセス最適化技術

理想科学の製品にはハード(プリンター)とインクなどのサプライ(消耗品)のマッチングにより、印刷プロセスを最適化する技術が結集されています。化学、機械、電気、ソフトウェアに至る広範囲な技術により、お客様が求める印刷品質を実現します。



詳しくは、Webサイトへ  
<http://www.riso.co.jp/core/>

## 編集方針

理想科学は、2004年に「環境報告書」を発行し、以降、当社の環境保全活動についてご報告してまいりました。2006年からはタイトルを「環境経営報告書」と変更し、環境や社会とのかかわりが経営にどのように反映されているかを、わかりやすくお伝えしています。

本冊子版では2014年度に行った活動成果を中心に簡潔にまとめることで、わかりやすい報告をめざしました。例年と同様に、読みやすさ、わかりやすさへの配慮から、カラーユニバーサルデザインを取り入れて制作いたしました。

本冊子版では掲載できなかった情報および過去から掲載している情報については、Webサイト (<http://www.riso.co.jp/>) で紹介しています。当社の事業活動を報告するためのより詳細なデータ「データブック」もWebサイトに掲載しています。

◎Webサイト掲載情報については、P.21をご覧ください。

### ●報告対象範囲

国内については、理想科学工業株式会社および理想沖縄株式会社の全事業所ならびに全営業拠点を報告の対象範囲としています。海外については、理想科学グループの生産拠点を環境負荷データの対象範囲とし、非生産事業所の電力、燃料(社有車燃料を含む)、水の使用量についても一部対象範囲としています。なお、データ集計範囲が異なる場合がありますので、各データに記載の集計範囲をご覧ください。

### ●報告対象期間

2014年4月1日から2015年3月31日まで。ただし、この期間以前もしくは以降の活動内容も一部含まれます。

### ●発行年月

2015年7月 ※ 次回発行は2016年7月を予定しています

### ●参考としたガイドライン

- 「GRIサステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版」
- 「環境省環境報告ガイドライン2012年版」

### ●期間中の主な変化

- 2014年4月にタイ新工場で「リソグラフ」の生産を開始
- 2014年5月に印刷速度が185枚/分に向上した「リソグラフ SEシリーズ」を発売
- 2015年2月に「環境経営報告書 2014」が第18回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門で優良賞を受賞

## CONTENTS

編集方針	1
ごあいさつ	3
理想科学の環境方針/環境への取り組み姿勢	4
理想科学について	5
会社概要	
事業拠点一覧	
会社データ	
主な製品	

### 特集1

低炭素社会の実現に向けて	7
--------------	---

### 特集2

循環型社会の実現に向けて	11
--------------	----

### Close up

タイ・ロジャナ工場における環境・社会への配慮	13
------------------------	----

社会とのかかわり2014	15
--------------	----

海外での取り組み2014	18
--------------	----

マネジメント	19
--------	----

環境マネジメント	20
----------	----

Webサイト掲載情報	21
------------	----

第三者審査報告書	22
----------	----



代表取締役社長  
**羽山 明**

## お客様の利便性の向上と 環境負荷の低減を両立する 製品・サービスを提供します。

平素は当社事業にご理解・ご支援を賜りありがとうございます。「環境経営報告書 2015」をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

理想科学は、「美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球的規模での環境保全に貢献する」ことを「理想環境憲章」に掲げ、環境負荷の低減に向けた活動を推進しております。

当社がメーカーとして、製品の開発・生産・販売活動を進めていく過程で、そしてお客様が当社の製品をご活用いただく過程でなんらかの地球資源が消費され、またさまざまな廃棄物が生まれています。このことを十分に認識して、利便性の向上と環境負荷の低減を両立できるような製品やサービスを創出し、お客様にご提供し続けることがわれわれの責務であると考えております。

さて、当社は平成26（2014）年5月に業界最速の高速デジタル印刷機「リソグラフSEシリーズ」を発売いたしました。環境面では、消費電力を抑えてプリントするエコモードや、プリント品質を保ちながらインクの使用量を抑えることができる省インクモードを搭載し、お客様の生産性の向上とともに環境負荷の低減に配慮しております。

本報告書は、当社の環境への取り組みやお客様をはじめとするステークホルダーの皆様との社会的なかわり、そして健全な企業活動の礎であるコンプライアンスやコーポレートガバナンスについて説明しています。ぜひご一読いただき率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

2015年7月

### 理想科学の環境方針

環境への取り組み姿勢を明確に示した「理想環境憲章」ならびに「環境行動指針」を制定し、理想科学は、全社を挙げて環境保全活動を推進しています。

#### 理想環境憲章

理想科学工業株式会社は、優れた製品の開発を通して社会に貢献することを基本理念とし、加えて地球社会の一員であることを深く認識し、美しい健全な環境を次世代に引き継ぐために地球的規模での環境保全に貢献するよう努めます。

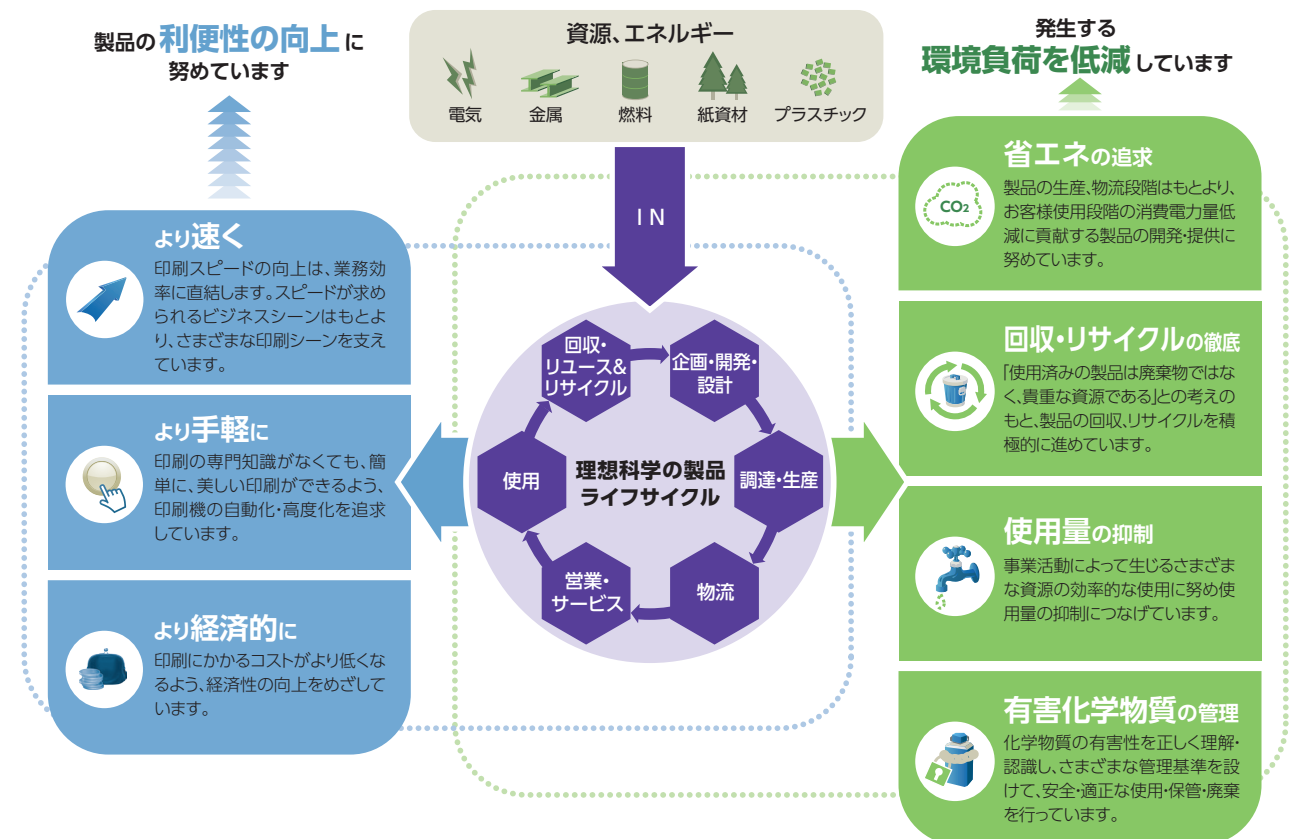
#### 環境行動指針

- 1. 環境に配慮した製品の開発**  
製品の開発・設計の段階から生産、流通、使用、リサイクル、廃棄などの各段階を考慮し、トータルでの環境負荷を低減するよう方針を策定し、実行する。
- 2. 省資源、省エネルギー**  
事業活動によって生じる環境への影響を調査、検討し、環境負荷を低減するよう、省資源、省エネルギーに努める。
- 3. 地域の環境保全**  
国、地方自治体などの環境規制等を遵守することにとどまらず、事故等の緊急事態に備えて汚染の可能性を検討し、予防する。
- 4. グローバルな視野での対応**  
海外事業活動および製品輸出に際しては、現地の環境に与える影響に配慮し、現地社会の要請に応えられるよう努める。
- 5. 継続的な改善**  
環境管理の組織、制度を整備し、環境目的・環境目標を設定して、継続的な改善活動を実施する。
- 6. 環境教育と情報公開**  
環境について全従業員が見識を深めることができるよう、当環境憲章および行動指針を元に適切な教育や広報活動をおこなうと同時に、環境活動状況を積極的に一般公開し、社会との連携により一層の環境負荷の低減に努める。

平成10年8月28日制定  
平成19年4月1日改定  
代表取締役社長 **羽山 明**

### 環境への取り組み姿勢

製品の「利便性向上」と「環境負荷低減」の両立を追求しています。





## 独自のプリントソリューションを世界の皆様へ

理想科学は、生産・販売のグローバルネットワークを構築。世界180以上の国や地域で、高性能インクジェット技術・デジタル孔版印刷技術を通じて、お客様満足を目指しています。

### 会社概要 (2015年3月31日現在)

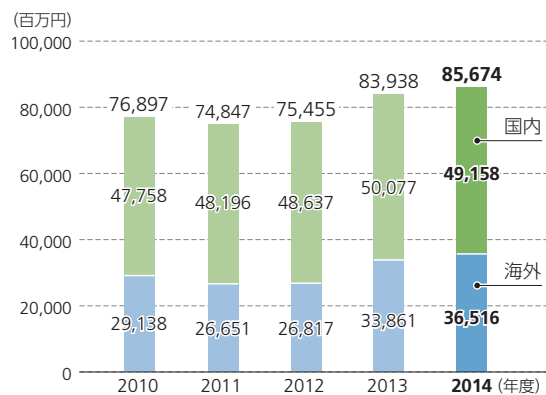
社名	理想科学工業株式会社 (RISO KAGAKU CORPORATION)	資本金	14,114百万円
創業	1946年(昭和21年)9月2日	連結業績	売上高 856億7千4百万円 当期純利益 56億2千4百万円 (平成27年3月期)
会社設立	1955年(昭和30年)1月25日	従業員数	3,549名(グループ全体)
本社	東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル	連結子会社	26社(国内2社、海外24社)

### 事業拠点一覧 (2015年7月1日現在)

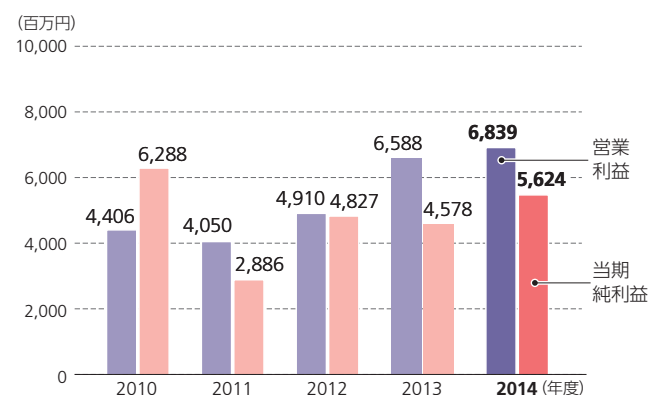


### 会社データ (記載金額は表示金額未満を切り捨てて表示しています。)

#### ● 売上高(連結)



#### ● 営業利益/当期純利益(連結)



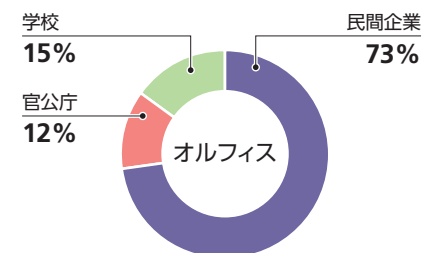
### 主な製品

#### 高速カラープリンター 「オルフィス」

多枚数のカラードキュメントを高速かつ低ランニングコストでプリントできる、ビジネス用途のインクジェットプリンターです。

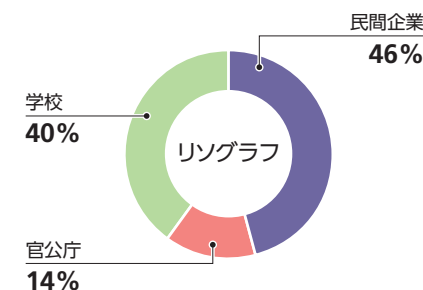


● 国内(日本)マーケット別構成比(2014年度)



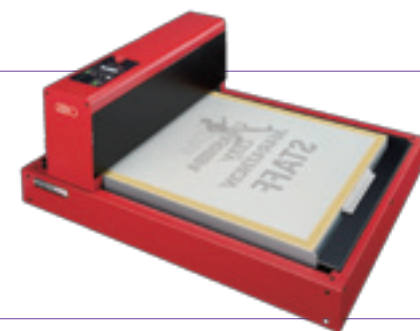
#### デジタル印刷機 「リングラフ」

孔版印刷の原理に理想科学独自の技術を融合させた高速デジタル印刷機です。1原稿当たりの出力枚数が増えるほどプリント単価が下がります。

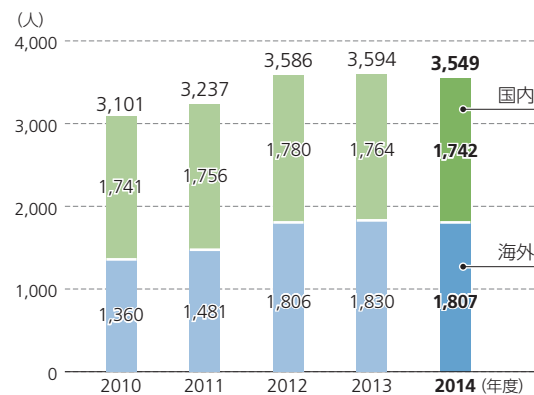


#### デジタルスクリーン製版機 「ゴッコプロ」

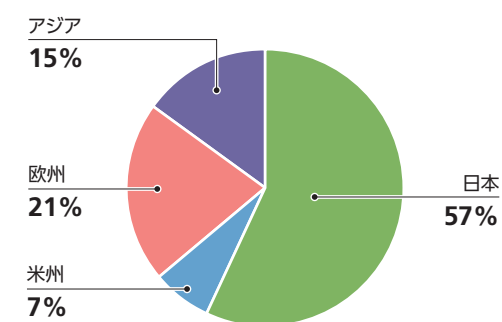
水や薬品を使用しない「完全ドライ製版方式」のデジタルスクリーン製版機。プリンター感覚で、手軽に高解像度・高精度なスクリーンを製版できます。



#### ● 年度末従業員数(グループ全体)



#### ● 地域別売上高比率(2014年度)





# 低炭素社会の実現に向けて

製品や事業活動を通じて、理想科学が展開するCO<sub>2</sub>の排出量削減のための取り組みを紹介します。



## CO<sub>2</sub>の累積排出量<sup>※1</sup>と地球温暖化

平均気温上昇が  
2℃を超えるまでの年数

約 **30** 年

CO<sub>2</sub>の累積排出量と気温上昇は比例関係にあり、産業革命以後の気温上昇が2℃を超えることによる影響の拡大が懸念されています。化石燃料の燃焼などによるCO<sub>2</sub>の排出量は、2011年には年間約10Gtであり、このままのペースで進むと世界の平均気温上昇が産業革命以前<sup>※2</sup>から2℃を超えるCO<sub>2</sub>累積排出量<sup>※3</sup>となるのは約30年後と予測されています。

※1 今までに大気に排出された人為起源のCO<sub>2</sub>の総量  
 ※2 1861年～1880年平均  
 ※3 50%を超える確率  
 出展: IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次評価報告書

## 製品使用時の省エネを追求

### → きめ細かな省エネ機能を搭載

「オフィス」には、節電のためのきめ細かな省エネ機能が搭載されています。一定時間使用のない場合、自動で省電力モードに切り替わる「オートスリープ」や「オートバックライトoff」機能を設定することで、待機時電力を150W以下、スリープモード電力を5W以下に抑えることが可能です。さらに、指定した曜日・時刻にプリンターの副電源を自動でオン・オフする「タイマー運転機能」を利用することにより、電力消費を0.5Wにまで削減することができます。



操作パネル上のウェイクアップキーとタイマー運転表示

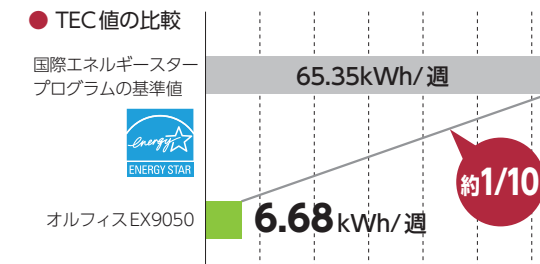
タイマー設定画面

### → 環境性能の高さを示すTEC値を更新

理想科学は、使用時の消費電力量を示すTEC<sup>※1</sup>値の低減に努めています。2013年に登場した「オフィスEX」は、従来製品と比較してTEC値の48%低減を実現しました。また、オフィス機器の国際的な省エネ制度「国際エネルギースタープログラム」に適合するためのTECの基準値65.35kWh/週と比較しても約1/10にあたる6.68kWh/週という低い数値を達成しています。こうした環境性能向上への取り組み成果が認められて、平成25年度「省エネ大賞」<sup>※2</sup>を受賞しました。

※1 TEC: Typical Electricity Consumption(標準的な電力)の略。1週間のプリンター使用[稼働とスリープ/オフが繰り返される5日間+スリープ/オフ状態の2日間]の消費電力量

※2 主催:一般財団法人省エネルギーセンター

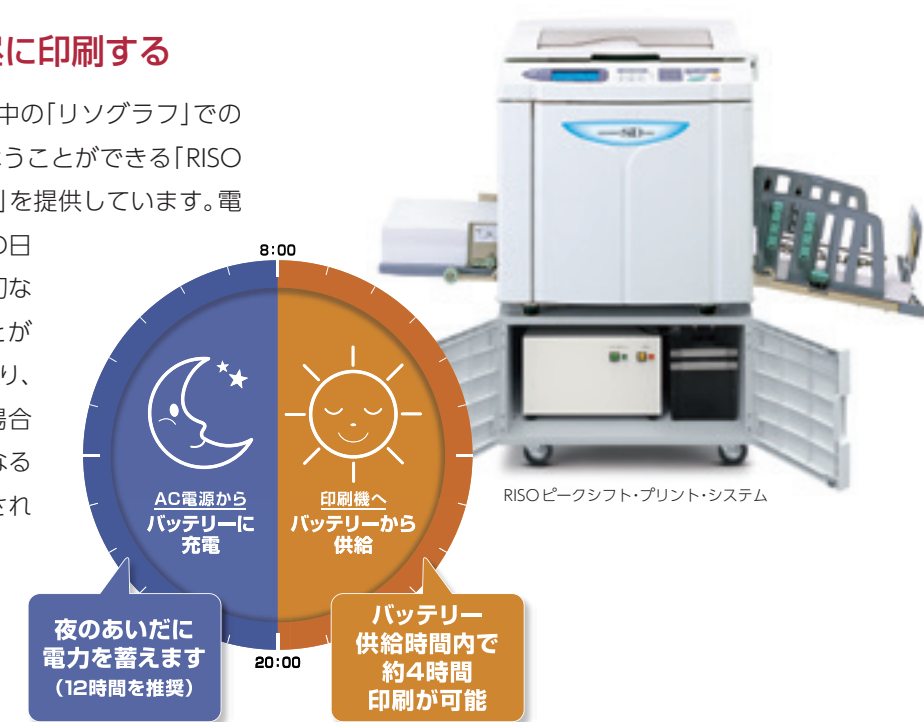


平成25年度「省エネ大賞」表彰式

## 節電をしながら、蓄えた電力で印刷を

### → 夜に蓄えた電気で昼に印刷する

夜間に蓄えておいた電力で、日中の「リソグラフ」での印刷に必要なエネルギーをまかなうことができる「RISOピークシフト・プリント・システム」を提供しています。電力供給が逼迫しがちな夏期・冬期の日中の時間帯も、節電をしながら大切な印刷物を休まず印刷し続けることが可能です。また蓄電することにより、災害などによって停電となった場合も、蓄えた電力での印刷が可能となるため、避難所などでの利用も期待されています。





## 日々の事業活動の環境負荷低減へ

### → グリーンカーテンで室温を抑制

宇部事業所、霞ヶ浦事業所、筑波事業所などでは、アサガオやゴーヤなどつる性植物を建物の外側に生育させることで、建物内の温度上昇を抑制し、節電に結びつけるグリーンカーテンづくりに積極的に取り組んでいます。各事業所のグリーンカーテンは、自社の省エネルギーに役立つばかりでなく、理想科学の環境保全への思いを地域社会に向けて発信する存在となっています。



グリーンカーテン  
(宇部事業所、霞ヶ浦事業所、筑波事業所)

### → 消費電力の低いLED照明を導入

各事業所では、消費電力の低い「LED照明」への切り替えを順次行っています。また、人の存在を感知した時に灯りがつく「センサー照明」の導入や必要な明るさを保ちながら不要な照明を取りのぞくなど、きめ細かな節電対策を実施しています。



LED照明

センサー照明

### → 再生可能エネルギーの利用を促進

理想開発センターでは、環境負荷低減を図る設備を導入しています。太陽光・風力発電装置のほか、地中熱を利用したヒートポンプも設置しています。さらに、建物内部に太陽光を取り込むための太陽光自動追尾装置の設置など、あらゆる面から再生可能エネルギーの利用が図られています。



太陽光自動追尾装置

風力太陽光ハイブリッド発電

地中熱の利用

### → クールビズの推進

使用電力の削減と地球温暖化対策のために、冷房設定温度を28度にし、ノーネクタイ・ノー上着で過ごすクールビズを実践しています。また、クールビズと連携して行われている、「最新の知恵をみんなで楽しくシェアしながら低炭素社会をつくっていこう」を合言葉とする気候変動キャンペーン「Fun to Share」に参加しています。



クールビズ推進の社内ポスター



### → 営業車での環境配慮

営業やサービス活動の移動に使う営業車には、地球環境に配慮しCO<sub>2</sub>排出を抑えた車を積極的に導入しています。2014年度も、低燃費の車種を導入しています。



営業車へのエコカー導入

## Topics

### 改正フロン法への対応

2015年4月から施行された「フロン排出抑制法」への対応に取り組みました。「第一種特定製品<sup>\*</sup>」を所有する12の事業所において、対象となる機器のリスト化、圧縮機に用いられる電動機の定格出力に応じた「定期点検計画」の作成、把握した漏えい量の報告ルールの策定などを行い、フロン類の管理体制を構築しました。

<sup>\*</sup>冷媒としてフロン類が充填されている業務用空調機器・冷凍冷蔵機器など



# 循環型社会の 実現に向けて

資源を無駄にしない社会への貢献をめざす理想科学の、製品・サービス、ものづくりにおける取り組みを紹介します。



## 増大する廃棄物量

世界の廃棄物発生量の見通し  
(2010年比)

2倍以上

経済成長と人口増加に伴い、世界における廃棄物の発生量は増大しています。2050年には、世界の廃棄物発生量が2010年の2倍以上\*1となる見通しとされています。廃棄物の排出を抑えとともに、発生した廃棄物をリサイクルすることで、私たちの生活環境が守られます。

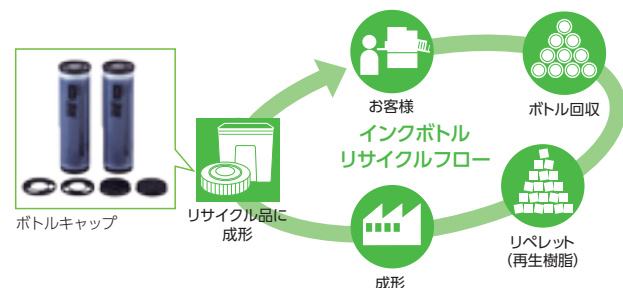
\*1 2011年に発行された「世界の廃棄物発生量の推計と将来予測 2011改訂版」より  
出展：環境省平成27年版 環境・循環型社会・生物多様性白書

リターナブルラックで  
出荷される製品

## インクボトルや用紙のリサイクルで

### → 回収ボトルをリサイクル

「リソグラフ」の使用済インクボトルを回収し、再生樹脂としてリペレットに加工した後、さまざまなプラスチック製品に成型し、製品の一部として利用されるほか、販促物や運搬用パレットなどで再利用しています。



### → 機密書類を安全にリサイクル

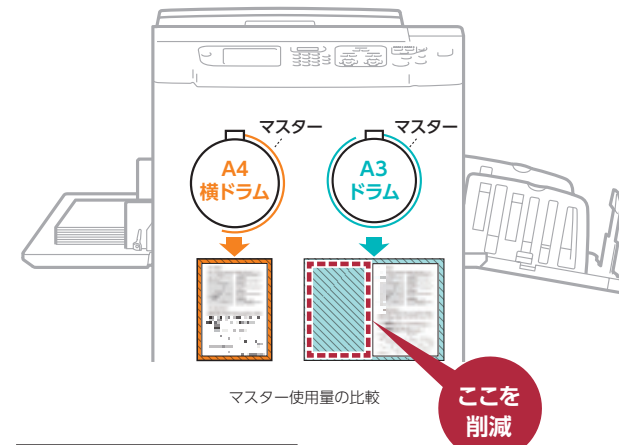
理想科学では機密書類を安全・確実に処分・リサイクルできる「ペーパーリサイクルボックスサービス」を利用しています。施錠されたボックスに投棄された書類は、専門スタッフが厳格な管理のもとで回収し、処理施設で抹消処理し、ダンボールや封筒などとして再生利用されます。



## 省資源機能を導入して

### → 「A4横ドラム」の切り替えでマスターを節約 ● A4横ドラムとA3ドラムのセットイメージ

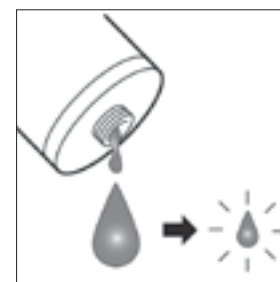
2本のドラムを内蔵することで、一度の紙通しで2色プリント・単色プリント・両面プリントを行える「リソグラフMEシリーズ」。単色プリントをする場合、A4ドラムとA3ドラムを同時にセットしておくことで原稿サイズにあわせて、印刷機がドラムを自動選択。A4原稿の場合、A3ドラム使用時に比べ、マスターを効率よく使用することができます。



### → 省インクモードを導入しインクを節約

デジタル印刷機「リソグラフ」は求めるプリント品質を十分にキープしながら、インクの使用量を約20%\*抑えて印刷することができ、消耗品を節約できる省インクモードを導入しています(データ原稿印刷時を除く)。

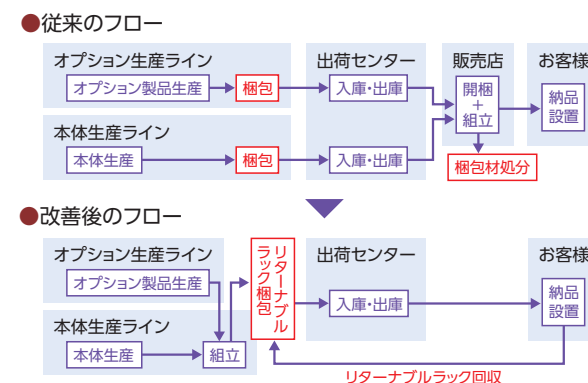
\* プリントモードや原稿など諸条件により異なります



## 製品納入時の梱包材を減らして

### → オプション製品を工場で組み立てて発送

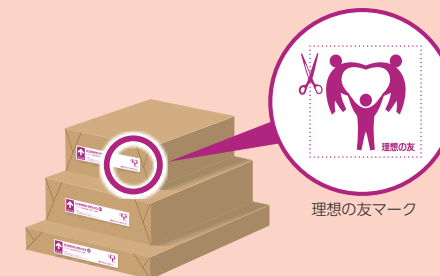
理想科学は、常にサプライチェーンにおける資源の有効活用を目指しています。そうした取り組みのひとつが、オプション製品の工場での取り付けです。従来、お客様から注文いただいた「オフィス」の本体とオプション製品は、別々に梱包し、出荷されていましたが、工場の生産ラインで取り付けてリターナブルラックを使い出荷することで、梱包材処分量の削減に成功しました。



## Topics

### ポイント交換プログラムで再生紙の活用を推進

「リソグラフ」での高速印刷に最適な環境に配慮した再生紙「RG環境用紙 理想の友Ⅱ」は、ポイント交換プログラムを展開しています。梱包ラベルに添付された「理想の友マーク」を集めると、希望の対象理想用紙と交換できます。





## タイ・ロジャナ工場における環境・社会への配慮

海外においても「理想環境方針」のもと、地球や地域社会との共生をはかりながらものづくりを進める理想科学の取り組みを紹介します。

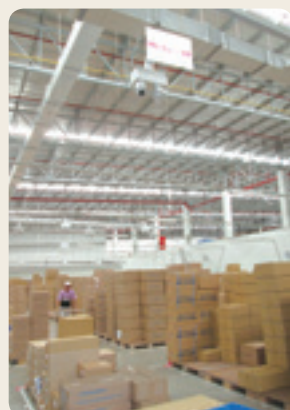


理想科学では、2012年からタイ・アユタヤ県のロジャナ工業団地に製造子会社 RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD. を設立。ロジャナ工場で主力製品のひとつ、デジタル印刷機「リソグラフ」の生産を行っています。2014年4月には新工場の操業を開始し、現地の環境や文化に配慮しながら、日本と同じ高品質な製品を安定して提供するための生産体制を構築しています。

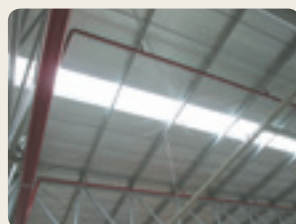


### 省エネ対応

タイ・ロジャナ工場では、電気の使用量削減を中心に、省エネ活動に取り組んでいます。工場内の部品貯蔵エリアにある屋根の一部を透明にすることで、昼間の照明を不要とするスカイライトを導入しているほか、休憩時間には消灯を心がけています。また、空調は25℃の設定を基本ルールとするなど、エネルギー消費を抑えるための工夫を工場の各所に取り入れています。



工場の屋根に設けられたスカイライト



25℃に設定された空調



### 省資源活動

タイ・ロジャナ工場では、段ボールの分別回収に徹底して取り組んでいます。納入部品の梱包に使われた段ボールは、リユースが難しいため、有価資源としてリサイクルしています。また、製品梱包用段ボールは、船積み輸送を想定して強度を持たせているため、日本から再びタイに戻してリユースしています。



段ボールの分別回収

### 水害対策

タイ・ロジャナ工場では2011年のタイ洪水を教訓に、BCP(事業継続計画)の観点から、施設内の各所にさまざまな水害対策を行っています。新工場の床面は、工業団地内道路から、1.6m高くして建設しています。また配電盤などの電気設備については、洪水時の水位よりもさらに高い位置に設置しています。そして、三次元測定機など移動が困難な設備のある部屋は、被害に備え、床面より一段高つくられています。その他、部品・設備の退避スペースを確保するなど、洪水への備えを実施しています。



配電盤



三次元測定機のある部屋

### 現地の文化を尊重する事業活動

現地の宗教や文化、習慣に配慮し、従業員の人権を尊重した事業運営に努めています。

新工場の建設時には、仏教の僧侶、バラモン教の司祭を招きセレモニーを行い、安全や事業の発展を祈願しました。また、工場の敷地内にスピリットハウスを設けて、従業員の厚い信仰心にこたえています。



工場敷地内の「スピリットハウス」

### 品質への取り組み 理想流 ものづくりを世界へ

「理想科学の製品を使ってよかった」とお客様に思っていたくために、当社は海外の生産拠点においても、徹底して品質を追求しています。タイ・ロジャナ工場では「リソグラフ」の組立ての際に使う治具\*や完成品の検査基準などを日本と同等にするほか、技術指導などを積極的に実施。ISO9001やISO14001の認証を取得しているのみならず、言葉や文化の壁を乗り越えて理想流のものづくりを現地で実践しています。

\*精度よくバラツキが少なく作業が行えるよう、部品や工具の作業位置を指示・誘導する器具





理想科学は、社会への責任を果たすために、ステークホルダーの皆様と積極的にコミュニケーションをとり、連携を心がけながら、さまざまな活動を行っています。



## お客様の満足のために

### お客様への電話サポートサービスを土曜日にも展開

理想科学の製品を土曜日でも安心してご利用いただけるように、2014年4月から、「RISOサービス&サポートシステム土曜日電話対応特約」の提供を全国で開始しました。私立学校、不動産、冠婚葬祭関連など、土曜日でも理想製品をお使いになるお客様へのサポート体制が整いました。

### コンテストを通じてCEの技術&サポート力を強化

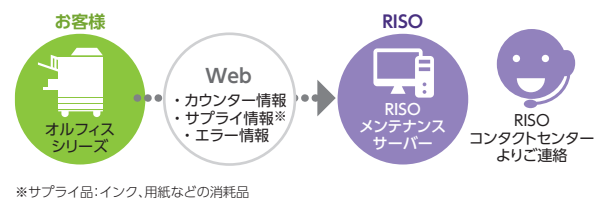
修理や保守点検に迅速に対応し、より良い印刷環境の提案を担うカスタマーエンジニア(CE)は、理想科学とお客様との信頼関係の要となる存在です。理想科学では、「RISO TECHNICAL CHAMPIONSHIP」を通じて、CEの専門知識・技術力・顧客対応力の向上を図っています。2015年2月には12回目の全国大会が開催され、約1,200名による各地区予選を勝ち抜いた26名が出場。規定時間内で機械のトラブルを解決する実技・筆記・スピーチの各試験に挑み、スキルを競い合いました。



実技試験の様子

### 機器の状態を遠隔から見守り、トラブルにも速やかに対応

インターネットを経由してお客様の「オルフィス」のコンディションを理想科学のメンテナンス用サーバーに送信する「RISOリモートエージェント」を通じて、より質の高いメンテナンスを実現しています。またRISOリモートエージェントにより送信されたメンテナンスコールエラーの際は、RISOコンタクトセンターから、電話連絡をさせていただくことで、速やかにトラブルに対応する「リモートメンテナンスコールサービス」も提供しています。



※サプライ品:インク、用紙などの消耗品

### 海外でも技術教育を展開し、高いレベルのサービスを提供

アジア各国では近年、インクジェット(IJ)方式の高速カラープリンター「オルフィス」の設置台数が増加し、さらなる需要が見込まれています。理想科学では、海外においても、高い技術レベルのサービスを提供できるよう、「アジアIJトレーナー研修」を実施しています。2014年9月に、アジアの子会社・販売店10社から20名が参加し、技術情報やノウハウの共有を図りました。



アジアリトレーナー研修の様子



## 働きがいのある職場環境をめざして

### 社員のメンタルヘルスをトータルにケア

メンタルヘルス不調の予防やセルフケアに重点を置いて、社員の心の健康づくりを支援しています。2014年度は、メンタルヘルスマネジメント検定対応セミナーを開催し、36名が参加しました。社員一人ひとりが、自らのストレスの状態を把握し、不調に早期に気づき、セルフケアを行い、必要な助けを求められる姿を目標として、メンタルヘルスマネジメント検定(Ⅲ種)へのチャレンジを勉強会や模擬試験の開催などによって支援しています。さらに、社員とその家族を対象に、仕事上のパフォーマンスに影響を与える悩みや心配ごとを会社に知られることなく、専門のカウンセラーに相談できるEAP(Employee Assistance Program)も提供しています。

### 職場への満足度を測る「社員意識調査」を実施

社員の会社に対する満足度向上や職場でのコミュニケーション向上を目的に、「社員意識調査」を3年ごとに実施しています。2014年度は、現状の会社・上司・職場・仕事への満足度や人事制度など、従来の質問項目に加えて、「残業に対する考え方」や「ダイバーシティへの会社の取り組み」に関する調査を行いました。「会社への満足度」について高い結果が出たほか、「仕事は自分自身の成長を促すチャンスだ」ととらえている社員が多いことがわかりました。

### 復職支援セミナーで仕事と子育ての両立を支援

「第一子の育児休業制度を利用し復職を予定する女性社員」を対象に、先輩社員の体験談やアドバイスを通じて復職への不安を払拭してもらうためのセミナーを毎年、開催しています。2014年度は、本社と理想開発センターで開催され、復職予定者、先輩社員あわせて計13名が参加しました。復職予定者からは、「不安が軽減され、復職が楽しみになった」「育児と仕事を両立している先輩の姿を見て、自分も頑張ろうと思った」といった感想が寄せられました。



復職支援セミナーの様子

## Voice

### 職場の応援が支えとなり、障がい者水泳大会でW優勝

筑波工場製造二課 北嶋 昇



「第14回全国障害者スポーツ大会」(2014年11月・長崎)に参加し、水泳競技・聴覚障害部門の50m・25m自由形の両方で優勝し、25mについては大会新記録を樹立することができました。こうした成果を残すことができたのも、上司や職場の仲間が協力し、練習をサポートしてくれたおかげだと思っています。





## 地域社会の一員として

### 宇部工場の緑のカーテンが最優秀賞を受賞

宇部工場では、省エネ・地球温暖化防止に貢献する身近な取り組みとして、緑のカーテンづくりを継続して行ってきました。2014年は、ゴーヤを育てて、管理棟南側の2階までを覆う幅15m×高さ5mの緑のカーテンを完成させ、宇部市が主催する「平成26年度 緑のカーテンコンテスト」で事業所部門の最優秀賞を受賞しました。



最優秀賞を受けた緑のカーテン

### 「オルフィス」を設置して、模擬国連の運営をサポート

世界に通用する若手人材の育成をめざす「第8回全日本高校模擬国連大会」(2014年11月・東京)の運営をサポートしました。高校生たちが各国の大使役を務め、英語で討議を行う模擬国連では、短時間で決議案や修正案を印刷・配布することが求められ、「オルフィス」の高速印刷技術が活躍しました。



模擬国連の様子

### 印刷をテーマとした出張授業で、環境教育をお手伝い

2004年から、神奈川県川崎市立枳形中学校の環境教育プログラムに出張授業を通じて協力しています。2014年は11月28日に開催された「平成26年度 環境教育ワークショップ」に参加し、29名の中学生たちに、「孔版印刷の歴史」「環境に配慮した印刷」について学んでもらいました。さらに、ガリ版印刷、リソグラフ印刷の各方式で新聞づくりを実習し、印刷の進化を実体験してもらいました。



出張授業の様子

### さまざまな社会貢献活動を各地で実施

#### ●社員食堂に寄付金付きメニュー

気軽に社会貢献活動に参加できる機会の提供として、2014年4月から宇部工場の社員食堂に、寄付金付きメニューを採用しました。集まったお金は、認知症の高齢者などを支援する赤い羽根共同募金「一口後見人プロジェクト実行委員会」に寄付しました。



社員食堂の寄付金付きメニューの一例

#### ●広島市内の豪雨災害に対する義援金寄付

2014年8月に発生した広島市内の豪雨災害で被害を受けた方々へのお見舞いとして、被災者支援と被災地の復興に役立てていただくため、広島市に対し100万円の義援金を寄付しました。

#### ●ネパール地震災害に対する義援金寄付

2015年4月にネパール中部で発生した地震災害で被害を受けた方々に、特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームを通じて100万円の義援金を寄付しました。

#### ●事業所近隣の清掃活動

「しづやの日」(4月28日)に行われる「渋谷区一斉清掃」に2010年から参加しています。2014年度は、東京オリンピックの開催に伴う訪日外国人の増加を見据えて環境美化の取り組みを強化するため10月7日にも実施され、いずれの日も渋谷支店のメンバーが渋谷駅周辺の清掃に励みました。



「渋谷区一斉清掃」の様子

## 海外での取り組み 2014

各地のお客様や地域社会と密着しながら、地球環境保全や教育・文化に貢献するさまざまな活動を行っています。



In Thailand

### リサイクル植木鉢を高校に寄贈

RISO Thailandでは、「リソグラフ」の使用済みインクボトルを回収し、植木鉢としてリサイクルし、事業活動や社会貢献に役立てています。2014年度はタイのナコーンラーチャーシーマー県で開催されたHigh School Director Conference 展示会場にご来場いただいた各高校に寄贈しました。



使用済みインクボトルから再生した植木鉢



In France

### 再資源化業務の専門企業 CONIBI 社と連携

RISO FRANCEでは、主要事務機器メーカーの共同出資で運営されるCONIBI社に業務委託をする形で、使用済みインクボトル・インクカートリッジの回収・リサイクルサービスを展開しています。2012年のサービス開始から、12,000個を超える当社の使用済みインクボトル・インクカートリッジの回収が行われました。



回収・リサイクルBOX



In Korea

### 観光地の清掃活動を実施

RISO KOREAでは、多くの人々が集まる場所の清掃や環境保全活動を積極的に行っています。2010年から毎年実施しており、2014年度は11月14日にソウル郊外の観光地 清溪山で、生物多様性を脅かす外来植物の除去や、登山道のゴミ拾いなどに取り組みました。



清掃活動の様子



In USA

### シルクスクリーン製版の手軽さと画質を海外に発信

北米最大の印刷機材展「SGIA EXPO2014」(2014年10月・米国ネバダ州)に出展し、デジタルスクリーン製版機「ゴッコプロ」を紹介しました。「Never Been So Easy」をキャッチコピーに、英語・スペイン語でデモを行い、「簡易性」「速さ」「環境へのやさしさ」を現地のプロ市場に向けて訴求しました。



SGIA EXPO2014



## 社会から認められ信頼される、健全な企業運営をめざす

企業としての社会的な責任を果たしながら、発展していく基盤となる経営体制の継続的な改善・強化に努めています。

### コーポレートガバナンス／コンプライアンス／リスクマネジメント

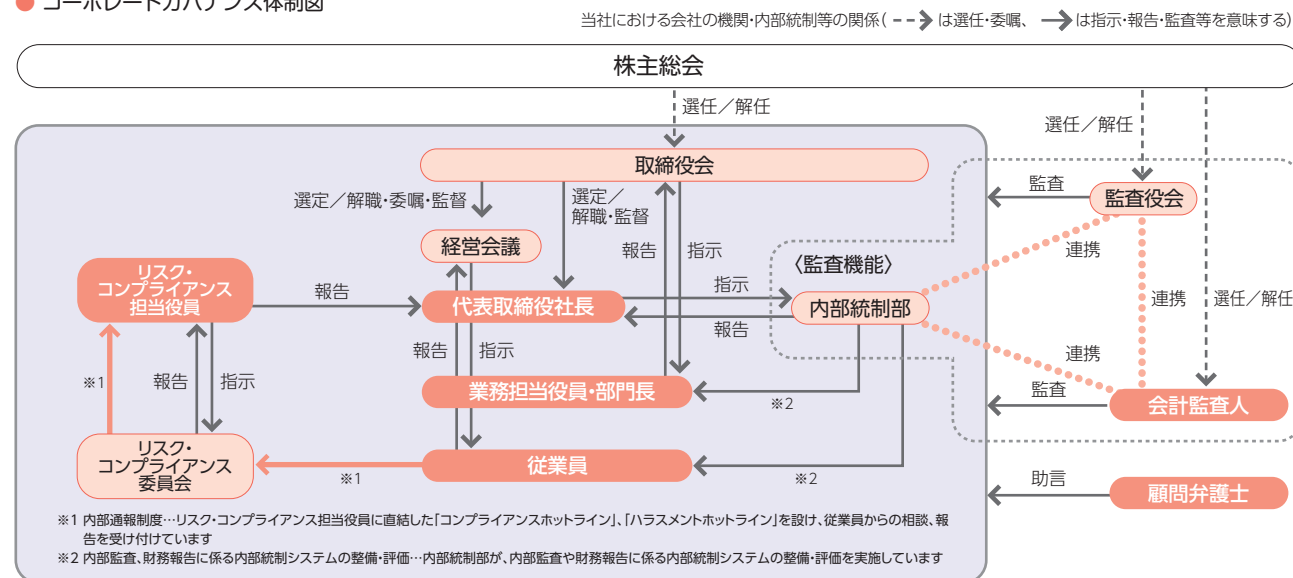
#### 月刊「コンプライアンス便り」で コンプライアンス意識を浸透

コンプライアンスを企業文化として浸透させるために、毎月1回「RISOコンプライアンス便り」の発行を開始しました。「ハラスメント」「SNSとの付き合い方」「インサイダー取引」など、身近なコンプライアンス上のリスクを取り上げて、イラストを活用した事例紹介を中心に、誰もがわかりやすく基礎知識や注意ポイントを学ぶことができるコンテンツとして全社員に発信しています。

#### 事業活動を守るために 情報セキュリティリスクに備える

事業活動に重大な影響を及ぼすリスクのひとつに、情報セキュリティリスクがあります。当社グループが保有する機密情報や個人情報破壊・改ざんされ、また外部に漏洩すれば、当社グループおよび関係者の方々に大きな損失をもたらします。こうしたリスクに備えて、「情報管理委員会」を設置し、情報セキュリティに関するリスクの低減に取り組んでいます。

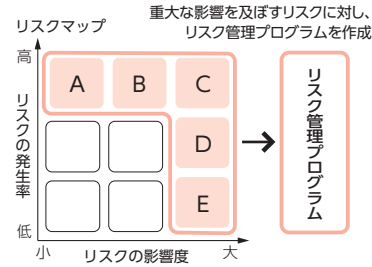
#### ● コーポレートガバナンス体制図



#### 「リスク・コンプライアンス委員会」を核に 体制強化を推進

当社は、会社法の定めに基づき「損失の危険の管理に関する規程」を制定しています。重要な業務は、執行に伴うリスク分析や対策の検討をしたうえで、経営会議や取締役会で審議・決定します。また、「リスク・コンプライアンス委員会」を設置し、当社グループを取り巻くさまざまなリスクが発生した場合の影響度などを分析・評価して、「リスクマップ」を作成しています。グループ経営に重大な影響を与えるリスクについては、個別にリスク管理プログラムを策定し実行することで、リスクの低減・回避に努め、統合的なリスク管理と体制整備を推進しています。

#### ● リスク管理の概要



詳細は当社Webサイトの「理想科学について/マネジメント」に掲載しています。  
<http://www.riso.co.jp/management/>

## 環境経営のマネジメントサイクルをまわす

理想科学は、環境管理の組織体制、制度を整備し、環境目的・環境目標を設定して継続的な活動に取り組んでいます。

### 法規制の遵守

2014年度の当社の法規制および法規類の監視・測定、遵守評価の結果、全て遵守していることを確認しました。行政機関から罰金や行政指導は受けておらず、近隣からの環境に関わる苦情も受けていません。

詳細は当社Webサイトの「環境への取り組み/環境マネジメント体制」に掲載しています。  
[http://www.riso.co.jp/eco\\_management/](http://www.riso.co.jp/eco_management/)

### 2020年度 全社環境目的(中期目標)

企業の成長と温暖化対策の両立をめざす産業界を挙げての取り組みである「電機・電子業界 低炭素社会実行計画」への加盟に伴い、同計画をふまえた2020年度までの目標に改定しました。これまでの2015年度 全社環境目的(中期目標)を見直し、再設定しました。

#### ● エネルギー使用量(原油換算)の削減

##### 国内全体で

▶ 2020年度においてエネルギー使用量単体売上高原単位を **3.79原油kl/億円以下**にする  
(2014年度から2020年度までのエネルギー原単位改善率を年平均1%と定める。達成の判断は、基準年度(2012年度)比で2020年度に7.73%以上改善する)

#### ● CO<sub>2</sub>排出量の削減

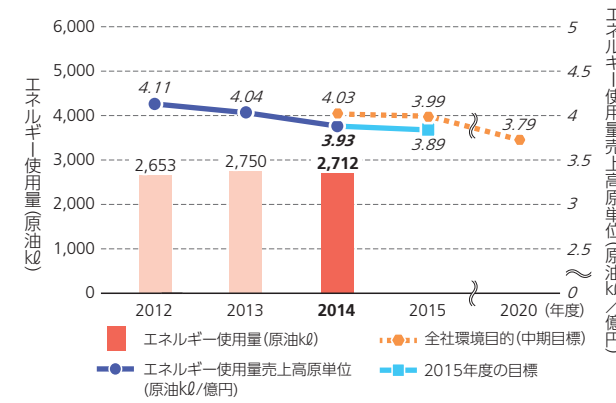
##### 国内全体で

▶ 2020年度においてCO<sub>2</sub>の排出量単体売上高原単位を **12.10t-CO<sub>2</sub>/億円以下**にする  
(エネルギー使用量単体売上高原単位の3.79原油kl/億円をCO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位に換算した数値に、物流と社有車のCO<sub>2</sub>排出量を含めた値)

##### 国内生産事業所全体で

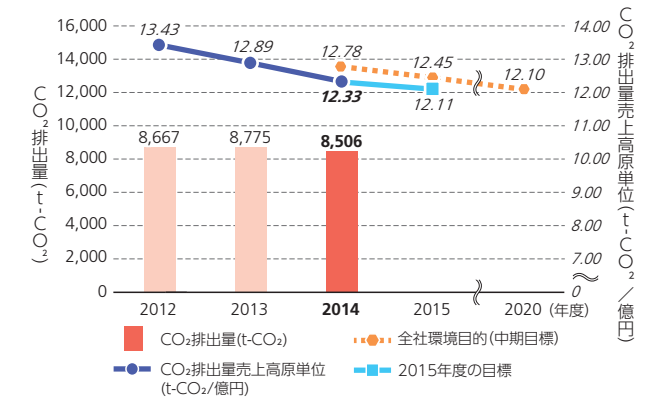
▶ 2020年度においてCO<sub>2</sub>の排出量総製造原価原単位を **11.50t-CO<sub>2</sub>/億円以下**にする  
(エネルギー使用量単体売上高原単位の3.79原油kl/億円をCO<sub>2</sub>排出量製造原価原単位に換算した数値)

#### ● 全社(国内)エネルギー使用量および売上高原単位の推移



集計範囲:理想科学単体国内全事業所のエネルギー使用量(委託物流量、社有車燃料使用量は除く)。売上高は単体売上高

#### ● 全社(国内)CO<sub>2</sub>排出量および売上高原単位の推移



集計範囲:国内全事業所のエネルギー使用量、社有車の燃料使用量、物流部所管の製品・サービスの物流委託量とそれらに伴うCO<sub>2</sub>排出量。売上高は単体売上高

#### 2014年度の実績状況

2014年度も2011年度の東日本大震災による電力供給逼迫をうけて、省電力に重点をおいた取り組みを継続しました。空調機や照明をエネルギー効率の高い設備へ更新し、屋根の遮熱塗装を行うなど積極的な投資を行い効果をあげました。2013年度と比較す

るとエネルギー使用量単体売上高原単位で3%、CO<sub>2</sub>排出量単体売上高原単位で4%改善しました。今後は適宜、PDCAを繰り返し、上方修正できるよう環境負荷の低減に向けて活動していきます。

詳細は当社Webサイトの「データブック」に掲載しています。  
[http://www.riso.co.jp/eco\\_report/](http://www.riso.co.jp/eco_report/)



# Webサイト掲載情報

理想科学は、環境経営、事業活動に関するより詳しい情報をWebサイトに掲載しています。

## 環境経営報告書

[http://www.riso.co.jp/eco\\_report/](http://www.riso.co.jp/eco_report/)



● **環境経営報告書(本書)**  
本冊子をPDFデータ、電子ブックでも掲載しています。

● **環境経営報告書(データブック)**  
 > 環境関連データ  
 > 環境会計  
 > 主要事業所の環境データ  
 > 社会関連データ  
 > 環境報告ガイドライン対照表

## 受賞のお知らせ

「環境経営報告書 2014」が、第18回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省、一般財団法人 地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門で優良賞を受賞しました。



## その他の情報開示・コミュニケーションツール



● **会社案内**



● **株主通信**

● コーポレートガバナンスに関する報告書  
 ● 決算短信  
 ● 有価証券報告書/内部統制報告書

## 理想科学ホームページ

<http://www.riso.co.jp/>

製品情報の他、理想科学からのお知らせなど最新情報を提供しています。



● **理想科学について**  
 > ごあいさつ  
 > 会社概要  
 > マネジメント  
 > 事業拠点一覧  
 > あゆみ  
 > ものづくり



● **環境への取り組み**  
 > 環境保全のための理想科学の基本方針  
 > 環境保全に向けた取り組みと実績  
 > 製品の環境対応  
 > 環境経営報告書



● **社会とのかかわり**  
 > お客様とのかかわり  
 > サプライヤーとのかかわり  
 > 株主・投資家とのかかわり  
 > 地域社会とのかかわり  
 > 社員とのかかわり



● **株主・投資家情報**  
 > 経営方針  
 > IRライブラリ  
 > IRイベントスケジュール  
 > 業績の推移  
 > 株式情報  
 > 電子公告

## コミュニケーションをテーマにさまざまな情報をお届けしています。

● **広報誌「理想の詩」**  
 広報誌の購読について  
 Webサイトの申し込みフォームまたは、ハガキで受け付けています。



# 第三者審査報告書

理想科学は報告書の信頼性および客観性を高めるために、報告内容について第三者からご意見をいただき、そのご意見を報告書の制作に反映しています。本年度も昨年までと同様に、テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社による第三者検証審査を受けました。今後も、報告内容の正確さ、わかりやすさを追求するとともに、開示情報の充実に努めていきます。

## 「理想科学工業 環境経営報告書 2015」第三者審査報告書



理想科学工業 株式会社  
 代表取締役社長 羽山 明 殿

2015年7月8日  
 テュフ・ラインランド・ジャパン 株式会社  
 代表取締役社長 ホルガー・クンツ

1. **審査の範囲及び目的並びに対象、審査の手続き、結論**  
 テュフ・ラインランド・ジャパン 株式会社(以下当審査機関という)は、理想科学工業 株式会社(以下、組織と言う)が作成した『理想科学工業 環境経営報告書 2015』及び『WEB掲載の環境データ』に関して、

- 環境報告及び環境パフォーマンス、環境会計に関する情報にて、算出、集計方法の合理性と数値の信頼性及び、記載内容の妥当性
- 環境報告にて、重要な情報が洩れなく開示されているか

について、独立した第三者機関の立場から審査を行いました。審査目的は、その結果を報告し結論を述べることです。

なお、審査基準として、環境省 環境報告ガイドライン及び環境報告書作成基準、GRIガイドライン、を参考としていますが、ガイドラインへの準拠性を認証するものではありません。

審査手続きを計画通りに実施し、審査の過程で要求した是正処置が適切に実施されることを約束された結果、当審査機関は、『理想科学工業 環境経営報告書 2015』及び『WEB掲載の環境データ』が、一般に公正妥当と認められる環境報告書作成ガイドラインの一般的報告原則に照らして、正確に数値算出されていると結論致します。

## 2. 審査総評

昨年に発行された2014年版環境経営報告書が環境省/(財)地球・人間環境フォーラムが主催する『環境コミュニケーション大賞-環境報告書部門』の優良賞を受賞しました。受賞を機にして社会から期待される一段高いレベルでの取り組みを目指して更なる継続的な改善が望まれます。また、コーポレートガバナンス・コードが東京証券取引所によって整備され、その中で非財務情報開示が奨励されています。既に環境を中心としたCSR情報開示のプラットフォームを有し、先行している現状を踏まえてあるべき非財務情報開示に向けて「新たに補うべき項目」と「充実させる項目」とを見定めることが重要です。今回の2015年版では下記の論点が提示され、更なる飛躍が期待できる基盤が整いつつあります。

- 3つのコア技術に言及し、環境技術を中心とした強みと環境貢献を語る形態が定着しつつある
- 環境経営についてパフォーマンスマネジメントシステムに対する理解が深まっている

- 低炭素社会の実現、循環型社会の実現、海外事業所での取り組み、など開示すべき論点が押さえられている

## 環境関連

- 今回も集計データの信憑性が継続的に改善していることを確認しました。過去に報告済みのデータについても訂正すべきものを把握のうえ、PDCAを回して改善に取り組み説明責任を果たしていく姿勢を高く評価します。
- 従来の中期計画に沿って高い目標を設定のうえ鋭意努力して継続的改善の成果を出してきたことを確認しました。残念ながら目標は未達となる見通しですが、最終年である2015年度が終わる前にPDCAを回して新規中期計画を再設定して環境改善に取り組んでいる姿勢は審査の過程で確認することができました。ただし、本報告書にはそのことが十分に開示されているとはいえずステークホルダーとの対話をさらに充実することが今後の課題と言えるでしょう。

- 「環境経営報告書 2014」が環境報告書部門で優良賞を受賞したことを高く評価します。
- コーポレートガバナンス・コードが2015年6月1日から適用開始されています。環境経営報告書を引き続き充実させてステークホルダーとの「対話」を推進することが望まれます。

## 社会的な取り組み関連

企業の社会的責任に鑑み取り組みがなされ、現状で期待される項目が掲載されていますが、非財務情報開示としてより一層の改善を行うために下記のような論点を今後の取り組みで充実されることを望みます。

- 設計開発から始まる一連のプロセスにおいてCSR上でポイントとなる論点を読者にもわかりやすく明示する
- 海外拠点における取り組みの有効性を高め、その有用性を読者にもわかりやすく明示する
- 持続可能性に関する記述とCSR経営を支えるビジョンを読者にもわかりやすく訴求する

## 環境会計関連 その他

環境会計情報の集計プロセスを有効に維持し、環境経営の継続的な改善に有益な影響を与えていることを評価し、継続的な改善を期待しています。環境パフォーマンスと貨幣情報を対比する環境会計の原理を応用した取り組みに期待します。

以上

審査報告書全文は、Webサイト上に掲載しています。